

種村一男氏関係資料抄（十訂稿）

—昭和戦前期警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 13 日（土）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）……………1

1 種村一男氏の経歴（省略）……………2

2 「種村文書」の概要（抄）……………3

3 種村一男氏の個人著作（抄）……………4

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）……………8

【関連事項】……………9

（補正経緯）

（HP 初載）：平成 21（2009）年 1 月 5 日初稿作成
平成 21（2009）年 1 月 24 日改訂稿作成
平成 21（2009）年 2 月 20 日二訂稿作成
平成 21（2009）年 12 月 3 日三訂稿作成
平成 22（2010）年 6 月 5 日（土）四訂稿作成
平成 22（2010）年 8 月 19 日（木）五訂稿作成
平成 24（2012）年 8 月 19 日（日）六訂稿作成
（一部補正、追加）
平成 26（2014）年 7 月 4 日（金）七訂稿作成
（一部補正、追加）
平成 27（2015）年 4 月 20 日（月）八訂稿作成
（文生書院関係等追加）
平成 30（2018）年 1 月 13 日（土）九訂稿作成
（『田中櫓一』所収稿等追加）

（参考）警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書
近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』（警察政策学会資料・別刷。令
和元（2019）年 10 月 1 日刊）中に「第 2 編 第 4 種村一男氏」（138～144 頁）あり。（令
和 4（2022）年 8 月 13 日（土）追記）

令和 4（2022）年 8 月 13 日（土）十訂稿作成
（レイアウトを全面変更し、一部補正追加した。）

1 種村一男氏の経歴（省略）

（参考）

- ・種村一男氏（1902～1982.9.12。大正 12（1923）年に 21 歳との由。元内務理事官）
- ・種村一男氏「“何とかなるよ。”」『田中樞一』（田中樞一追悼録刊行会、昭和 50 年 12 月 6 日刊）242～248 頁（平成 30 年 1 月 13 日追加）
- ・種村一男氏「内務属は語る 12 種村一男」『内務省外史』（大霞会¹、昭和 52 年 11 月 11 日刊）259～261 頁（平成 22 年 6 月 5 日追加）
- ・伊藤隆・季武嘉也編『近現代日本人物史料情報辞典』（吉川弘文館）第 1 巻～第 4 巻収載人物一覧：〈http://kins.jp/dic_person_list.html〉
- ・平成 18（2006）年 9 月 1 日現在：伊藤隆（1932～）・季武嘉也（1954～）編『近現代日本人物史料情報辞典』第 3 巻（吉川弘文館）「収載予定人物一覧」中に、「種村一男」（担当執筆者決定済の由）の予告があった（当時のサイト：〈http://kins.jp/dic3_ta.html〉（下記サイトと同じ。））が、平成 19（2007）年 12 月 10 日に刊行された同書には収録されず。
- ・平成 20（2008）年 7 月 30 日現在：伊藤隆・季武嘉也編『近現代日本人物史料情報辞典』第 4 巻（吉川弘文館）「収載予定人物一覧」中に、「種村一男」（担当執筆者未定の由）の予告あり。〈http://kins.jp/dic3_ta.html〉（平成 22 年 6 月 5 日再確認）⇒その後平成 23（2011）年 2 月 8 日刊行の同編『近現代日本人物史料情報辞典』第 4 巻（吉川弘文館）にも収録されず、平成 24（2012）年 8 月 19 日現在サイト〈http://kins.jp/dic3_ta.html〉中「史料情報辞典 今後の収載予定人物一覧」に掲載されている。（平成 24 年 8 月 18 日追加）
⇒伊藤隆「史料と私の近代史 近現代史研究の第一人者が語る [14] 最終回 史料館の挫折と人物史料情報辞典」『中央公論』平成 26 年 7 月号（第 129 年 7 号、平成 26 年 6 月 10 日刊）180～190 頁参照。（平成 26 年 7 月 4 日追加）⇒伊藤隆『歴史と私 史料と歩んだ歴史家の回想』（中央公論新社、中公新書、平成 27 年 4 月 25 日刊）に再録。（令和 4（2022）年 8 月 13 日追加）
- ・警察政策学会警察史研究会『普魯西王国警察大尉ウィルヘルム・ヘーン九州・東北各県巡回視察復命書 付 全国警部長会議における演説』（警察政策学会資料第 60 号、平成 22 年 5 月刊。「あとがき」に「編 T 生」とある。「資料 2 「種村資料」について」（174～183 頁）。本 HP 別稿「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」（平成 19（2007）年 3 月 1 日初稿作成、逐次改訂中。）参照。）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉（平成 22 年 8 月 19 日追加）
- ・黒澤良（1965～）『内務省の政治史 集権国家の変容』（藤原書店、平成 25 年 9 月 30 日刊）264 頁（平成 27 年 4 月 20 日追加）
- ・警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警

¹ 本 HP 別稿「『大霞』発行表」参照。（平成 24 年 8 月 19 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/taika.pdf>〉

察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷。令和元(2019)年10月1日刊)中に「第2編 第4 種村一男氏」(138~144頁)あり。(令和4(2022)年8月13日(土)追記)

2 「種村文書」の概要(抄)

・(対談):高橋雄豺(1889~1979)・中原英典(1915~1979)「日本警察の歩みを語る(その1)―明治警察史研究を中心に―」『警察研究』第45巻第9号(昭和49年9月10日刊)110頁参照。

高橋雄豺博士: <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>>

中原英典氏: <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>>

・「私立PDD図書館 百科辞書」

<<http://w021.q.fiw-web.net/pddjapn/pddj.cgi?mode=log&no=61&page=136>>

・国立公文書館: 国立公文書館デジタルアーカイブ

<http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/MetaOutServlet?GRP_ID=&DB_ID=G9100001EXTERNAL&IS_STYLE=default&IS_TYPE=meta&XSLT_NAME=MetaSearchSimpleFrame.xsl&ID=&act=meta&DEF_XSL=default>

・「内務省警保局文書」:

<<http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/MetaOutServlet>>

・「種村氏警察参考資料」 ネット番号 689 第1集~800 第183集

・「種村氏警察参考資料別冊1、2」 ネット番号 801 別冊1、802 別冊2

・『外事警察報』〔補巻〕全8巻 別冊1(不二出版、平成12年9月刊)

<<http://www.fujishuppan.co.jp/kindaishi/gaijikeisatuhou.htm>> 参照。

<<http://www.fujishuppan.co.jp/books/history/%E5%A4%96%E4%BA%8B%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%A0%B1%E3%80%94%E8%A3%9C%E5%B7%BB%E3%80%95%E3%80%80%E5%85%A88%E5%B7%BB%E5%88%A5%E5%86%8A1%E3%80%80%E3%80%94%E5%BE%A9%E5%88%BB%E7%89%88%E3%80%95/>>

不二出版: <<http://www.fujishuppan.co.jp/>>

【別冊】『外事警察報 補巻 解題・総目次・索引』(解題:荻野富士夫)

<<http://www.fujishuppan.co.jp/kindaishi/gaiji-hokan.htm>>

<http://books.google.co.jp/books/about/%E5%A4%96%E4%BA%8B%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%A0%B1%E8%A3%9C%E5%B7%BB%E8%A7%A3%E9%A1%8C%E7%B7%8F%E7%9B%AE%E6%AC%A1.html?id=b36AAAAACAAJ&redir_esc=y>

(平成21年1月24日追加、同2月20日補正、平成24年8月19日補正)

・『昭和戦前期内務行政史料』全36巻(池田順(1952~)編集・解説、ゆまに書房、平成12年10月25日刊~平成13年7月19日刊)

<<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/htm/4843301809.html>>

・文生書院関係（平成 27 年 4 月 20 日追加）

〈<http://www.bunsei.co.jp/ja/koshoall/sinnyuko/1221-tanemura.html>〉

Booklist-on-Demand と 20 世紀メディア情報DB →

『種村文書』の残り五種

2014（平成 26 年）年 09 月 18 日・コメント（0）・古書

〈<http://blog.bunsei.co.jp/2014/09/18/tane/>〉

3 種村一男氏の個人著作（抄）

（1）単行書、冊子（抄）

〈<http://webcatplus.nii.ac.jp/webcatplus/details/creator/126530.html>〉

（戦前期）

・『菊御紋章取締に就いて』（東京・大学書房、昭和 4 年 8 月 20 日刊）

〈<http://www.lib.city.yokohama.jp/cgi-bin/Swwwsvis.sh?0+1021+1+1+0+205023372+0+1+0+0+1+1+1>〉

・内務省警保局 種村一男著『改正恩給法解義』（松華堂書店、昭和 8 年 7 月 30 日刊）

〈http://books.google.co.jp/books/about/%E6%94%B9%E6%AD%A3%E6%81%A9%E7%B5%A6%E6%B3%95%E8%A7%A3%E7%BE%A9.html?id=HwSIPwAACAAJ&redir_esc=y〉

（戦後期）（平成 21 年 12 月 5 日修正、同 24 年 8 月 19 日修正）

・戦後に下記の如き刊行冊子（九集前後か）あり。

・種村一男編『警察参考資料』（うち、第一集～第八集：国立国会図書館所蔵）

上記国立公文書館所蔵文書の「種村氏警察参考資料」とは別のもので、同氏が、昭和 45（1970）年以降に、個人的に単行冊子として編集されたものか。

・『警察参考資料』（第一集・軽犯罪編）昭和 45（1970）年 4 月 20 日刊（「凡例」あり。各編共通）

・『警察参考資料』（第二集・二、二六事件と戒厳令編）昭和 45（1970）年 6 月 20 日刊

・『警察参考資料』（第三集・敗戦編）昭和 45（1970）年 9 月 30 日刊

・『警察参考資料』（第四集・給与編 その一）昭和 46（1971）年 1 月 15 日刊

・『警察参考資料』（第五集・給与編 その二）昭和 46（1971）年 4 月 10 日刊

・『警察参考資料』（第六集・給与編 その三）昭和 46（1971）年 10 月 30 日刊

・『警察参考資料』（第七集・給与編 その四）昭和 47（1972）年 5 月 1 日刊

・『警察参考資料』（第八集・警察電気通信編）昭和 47（1972）年 12 月 1 日刊（「凡

例)：本集のみのものあり。川路大警視関係の記載あり。)

・『警察参考資料』(第九集・地震編)昭和48年9月1日刊(国立国会図書館には当時所蔵なし。例えば、下記東京・大村書店HP(平成20年7月3日閲覧)、定価525円、発送文あり。)〈<http://www.h3.dion.ne.jp/~oh-mura/syakai.htm>〉

・『警察参考資料』第十集以降が刊行されたか否かは、現段階では不明。

・以前入手可能の種村一男氏関係古書: Amazon.co.jp (平成20年7月20日閲覧)

「警察参考資料(1970年)種村一男(-1970/4)1点の新品/中古商品を見る ¥430,400より(配送料¥340)」とあった。値段が法外なのはともかくとして、「(1970/4)」からして、おそらく上記『警察参考資料』中の第1集を指すものかと思われたが、詳細不明。

・以前入手可能の種村一男氏関係古書: Amazon.co.jp (平成21年12月4日閲覧)

「警察参考資料(1970年)種村一男(編集)(1970)2点の新品/中古商品を見る ¥77,800円及び80,000円(配送料¥340)」とある。値段が上記よりもかなり安くなってはいるが、依然として、高額なのはともかくとして、これも、おそらく上記『警察参考資料』中の第1集を指すものかと思われるが、詳細不明。

・現在入手可能の種村一男氏関係古書: Amazon.co.jp (平成22年6月5日閲覧)

「警察参考資料(1970年)種村一男(編集)(1970)2点の新品/中古商品を見る ¥79,956円及び79,957円(配送料¥340)」とある。値段は、依然として、高額なのはともかくとして、これも、おそらく上記『警察参考資料』中の第1集を指すものかと思われるが、詳細不明。

・平成24年8月19日現在では購入可能書はなし。(平成24年8月19日追加)

〈http://www.amazon.co.jp/s/ref=nb_sb_noss?_mk_ja_JP=%83J%83%5E%83J%83i&url=search-alias%3Dstripbooks&field-keywords=%8E%ED%91%BA%88%EA%92j&x=14&y=21〉

(2) 雑誌²寄稿論稿等抄録(平成21年2月20日、同21年12月5日、同24年8月19日各補正)

* 『警察協会雑誌』³

① 『明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』第125巻、第126巻(警察)(大空社、平成9年5月26日刊)検索の『警察協会雑誌』分(明治新聞雑誌文庫所蔵分)

② 上記『目次総覧』収録以外のものについては、※を付した。

・※第352号(昭和4.12) 菊御紋章類似図形取締に就いて(上記『菊御紋章取締に就いて』(大学書房、昭和4年8月刊)参照。)

² 本HP別稿「警察雑誌検討一斑―戦前期警察史の一齣―」参照。(平成26年7月4日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keisatsuzasshi.pdf>〉

³ 本HP別稿「『警察協会雑誌』発行表」参照。(平成24年8月19日追加)

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikyozasshi.pdf>〉

- ・第 393 号 (昭和 8.05) 恩給法中改正法律の概要 第 125 巻-402 頁
- ・※ 第 413 号 (昭和 9.12) 警察招魂祭を終へて
- ・第 433 号 (昭和 11.06) 警察新規事業概要 第 125 巻-464 頁
- ・第 443 号 (昭和 12.04) 受給者を本位にした恩給法の話 (1) 第 126 巻-? 頁
- ・第 444 号 (昭和 12.05) 受給者を本位にした恩給法の話 (2) 第 126 巻-9 頁
- ・第 446 号 (昭和 12.07) 朝鮮警察部長会議に出席して 第 126 巻-13 頁
- ・第 446 号 (昭和 12.07) 受給者を本位にした恩給法の話 (3) 第 126 巻-? 頁
- ・第 447 号 (昭和 12.08) 受給者を本位にした恩給法の話 (4) 第 126 巻-15 頁
- ・※ 第 448 号 (昭和 12.09) 受給者を本位にした恩給法の話 (5)
- ・※ 第 449 号 (昭和 12.10) 受給者を本位にした恩給法の話 (6)
- ・第 450 号 (昭和 12.11) 受給者を本位にした恩給法の話 (7) 第 126 巻-18 頁
- ・※ 第 451 号 (昭和 12.12) 受給者を本位にした恩給法の話 (8)
- ・第 453 号 (昭和 13.02) 受給者を本位にした恩給法の話 (9) 第 126 巻-21 頁
- ・※ 第 454 号 (昭和 13.03) 受給者を本位にした恩給法の話 (10)
- ・第 455 号 (昭和 13.04) 受給者を本位にした恩給法の話 (11) 第 126 巻-23 頁
- ・第 456 号 (昭和 13.05) 受給者を本位にした恩給法の話 (完結) 第 126 巻-26 頁
- ・第 490 号 (昭和 16.03) 警察と新官吏制度第 126 巻-75 頁
- ・第 491 号 (昭和 16.04) 鈴木千次さんを憶ふ 第 126 巻-76 頁 (「前警察協会主事故鈴木千次君追悼録」の一つ。鈴木千次⁴: 1867~1941)
- ・第 493 号 (昭和 16.06) 臨時手当の給与に就て 第 126 巻-78 頁
- ・※ 第 516 号 (昭和 18.05) 優遇令と警察官 (下記『台湾警察時報』第 331 号 (昭和 18 年 6 月 20 日刊) に転載か。朝鮮の『警務彙報』⁵は未確認 (平成 21 年 12 月 5 日追加)。

(参考 1) 上記以外で気付きしもの

・『警察協会雑誌』第 389 号 (昭和 8 年 1 月刊) 口絵: 「学士会館に於るヴォルマー教授招待」(米国加州バークレー市前警察部長、カリフォルニア大学警察学教授オーガスト・ヴォルマー) に、高橋雄豺博士 (1889~1979)、種村一男氏等の姿あり。

(参考 2) 『警察協会雑誌目次集=警察政策百年の論述=』の刊行等 (平成 26 年 7 月 4 日追加)

・平成 25 (2013) 年 12 月に警察政策学会警察史研究部会・公益財団法人警察協会編『警察協会雑誌目次集=警察政策百年の論述=』(警察政策学会資料・別刷、警察政策学会・公益財団法人警察協会、平成 25 年 12 月刊) が刊行された。これとは別に、公益財団法人警

⁴ 本 HP 別稿「警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」参照。(平成 24 年 8 月 19 日追加) (<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>)

⁵ 本 HP 別稿「『警務彙報』(財朝鮮警察協会刊)発行表」参照。
(<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keimuihou.pdf>)

察協会 HP <<http://www.keisatukyokai.or.jp/>> に HP 用「目次集」がアップされている。

⇒ <<http://www.keisatukyokai.or.jp/index.php?id=145>>

・平成 26 (2014) 年 1 月 21 日 (火) より「図書館向けデジタル化資料送信サービス」(図書館送信) が開始され、この結果『警察協会雑誌』のデジタル化資料(第 1 号～第 520 号)も最寄りの公共図書館等(国立国会図書館の承認を受けた図書館に限る。)で利用できるようになった。 <http://www.ndl.go.jp/jp/library/service_digi/>

* 『警察研究』 (平成 21 年 12 月 5 日修正)

・第 1 巻第 1 号 (昭和 5 年 1 月 5 日刊) ～第 3 巻第 4 号 (昭和 7 年 4 月 5 日刊)

内務省警保局 (内務属) 鳥越熟二 (1895～1933) 内務省警保局 (内務属) 種村一男「新法令の研究・訓令通牒・警察関係判例・統計研究・質疑回答」類を掲載

・第 3 巻第 5 号 (昭和 7 年 5 月 5 日刊) ～? (調査中)

内務省警保局 (内務属) 種村一男 内務省警保局 (内務属) 松尾英敏新法令の研究・訓令通牒・警察関係判例・統計研究・質疑回答」類を掲載

* 『台湾警察時報』⁶

・第 331 号 (昭和 18 年 6 月 20 日刊) 優遇令と警察官

(上記『警察協会雑誌』第 516 号 (昭和 18 年 5 月刊) 所収の同名論説の転載か。)

(3) その他

・参議院会議録情報 第 010 回国会 人事委員会 第 10 号

昭和 26 年 3 月 20 日 (火曜日) 午前十時四十六分開会

本日の会議に付した事件 ○国家公務員災害補償法案 (内閣提出)

(参考人 種村一男氏)

<<http://kokkai.ndl.go.jp/SENTAKU/sangiin/010/0794/01003200794010a.html>>

・種村一男「“何とかなるよ。”」『田中櫛一』(田中櫛一追悼録刊行会、昭和 50 年 12 月 6 日刊) 242～248 頁 (平成 30 年 1 月 13 日追加)

田中櫛一 (1903～1973) :

<<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%94%B0%E4%B8%AD%E6%A5%A2%E4%B8%80>>

・種村一男「内務属は語る 12 種村一男」『内務省外史』(大霞会、昭和 52 年 11 月 11 日刊) 259～261 頁 (平成 22 年 6 月 5 日追加)

⁶ <<http://www.amazon.co.jp/gp/aw/d/4897740215>> 参照。(平成 24 年 8 月 19 日追加)

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和 4（2022）年 8 月 13 日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>〉
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治 25（1892）年 2 月 18 日刊）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>〉
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>〉
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>〉
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>〉
- ・「坂元純瀨、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問いかけを追って—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>〉
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>〉
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人— 一明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>〉
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>〉
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉

- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で—明治・大正警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』 検討一斑—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「警眼社社主田山宗堯とは誰ぞ—『警察協会雑誌』との関連をめぐって— 明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tayama.pdf>〉
- ・「松華堂乃至松華堂書店とは何ぞや—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shokado.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「有光金兵衛とは誰ぞ—「田村豊氏著作目録」補遺—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/arimitsu.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉
- ・「小林光政氏とは誰ぞ—大正・昭和戦前期警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashimitsumasa.pdf>〉
- ・「内務省警保局の主 芽城鈴木千次とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/suzukisenji.pdf>〉
- ・「種村一男氏関係資料抄—昭和戦前期警察史の一齣—」（本稿）
〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanemura.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月13日追加）

- ・法制史学会： 〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館： 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉

- ・ 国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和 4（2022）年 4 月 1 日追加）
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・ CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles
の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉

（了）